

2. 求められる合意形成の過程

再編議論の出発点

再編の合意形成は、「中学校が直面する課題」や「再編の目的」を市民と共有するだけでは得ることはできません。再編に納得できるか否かは、学校内の教育環境だけでなく、子どもや保護者の実生活がどう変わることが大きく関わってきます。

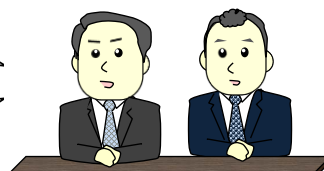
そのため、中学生以下の子どもがいる保護者にとっては、子どもが再編の対象学年となるか否かが議論の出発点となります。

説明会での一幕

中学校にはこんな課題があります！

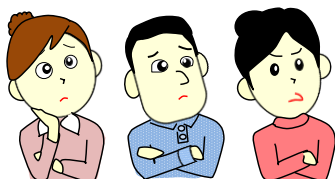
再編すればこんなことができます！

再編が必要なんです！！



教育委員会

説明はわかったけど・・・



地域・保護者のみなさん

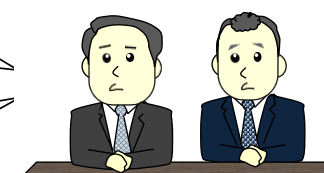
いつから開校するんですか？

どこに学校ができるんですか？

いつ、どこに、は決まっています

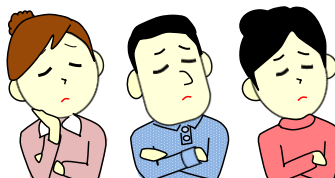
これから議論していきます

皆様のご意見を・・・



教育委員会

意見の言いようがないよ・・・



地域・保護者のみなさん

うちの子は関係あるのか、ないのか・・・

親や子どもの負担はどう変わるの？

これじゃ具体的なイメージが湧かない・・・

次回説明会に対する要望

保護者は、再編の「効果」や「期待」と、再編による「負担」や「不安」の両面から、再編の必要性を考えます。新中学校が「子どもを通わせてもよい」と思える学校であるか、再編によるデメリットが許容できるものであるか等、再編が決定する前に十分説明してほしいというのが保護者の要望です。そのため、次回の説明会では、「いつから」「どこに」「どんな」学校ができるかを説明してほしいという要望が相次ぎました。

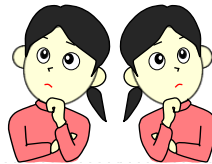
再編の「効果」「期待」

子どもの学校生活が充実する
子どもの能力を伸ばせる
指導体制が充実している
通学問題の解消策がある

再編の「負担」「不安」

子どもの通学距離が伸びる
親の負担が増える（送迎時間等）
大人数で目が行き届かなくなる
地域の関係が希薄になる

いつ、どこに、どんな学校が
できるか…



聞かないと分からない…

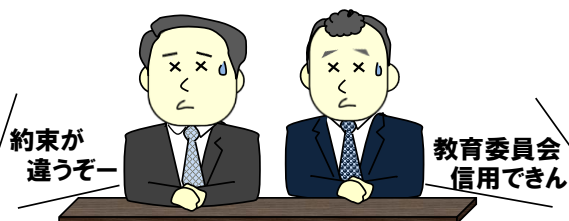
次回説明会の時期

地域や保護者は、市教委に対して、計画の具体的な内容を、計画が決まる前に説明することを望んでいます。従って、審議会の答申前に説明会を開催するのか、答申後に開催するのかを検討する必要があります。

《答申後に説明会を開催する場合》

- 報道が先行して、不信感が生まれる懸念

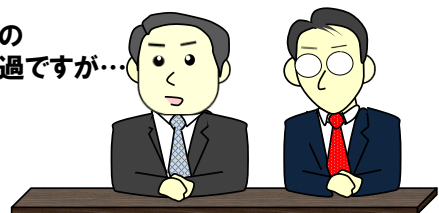
エーツ!! もう決まってるし…



《答申前に説明会を開催する場合》

- 審議会の審議に影響がでる懸念

審議会の
途中経過ですが…



審議会は地域の声を
聞いているのか!
納得できな〜い!!

